SAKAImed

ディスク・クリミネーター

2 point discrimination (2PD)

SOT−512752

取扱説明書

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

酒井医療株式会社　東京都新宿区山吹町 358-6　〒162-0801
http://www.sakaimed.co.jp

02-081①Q6

目的

触覚を評価する検査器具です。

二点識別検査（2 point discrimination;2PD）は測定部位に触覚の受容器がどれくらいの密度で存在しているかを検査します。

※ 触覚の受容器（機械的受容器）には、物を持続的に把持する機能に必要な順応の遅いＳＡ受容器（slowly adapting mechanoreceptor）と、材質の識別や巧緻動作機能に必要な順応の早いＱＡ受容器（quickly adapting mechanoreceptor)があり、それぞれ閾値と密度を検査する方法があります。ディスク・クリミネーターはＳＡ受容器とＱＡ受容器の密度を検査するものです。

※ 知覚障害のおきている部位や範囲の特定、静的触覚の閾値については別売のモノフィラメント知覚テスターをご使用下さい。

お手入れ方法

消毒用エタノールをふくませた綿などで、検査針を拭いてください。

仕様

ディスク１(1点、2㎜、3㎜、4㎜、5㎜、6㎜、7㎜、8㎜、25㎜)

ディスク２(1点、9㎜、10㎜、11㎜、12㎜、13㎜、14㎜、15㎜、20㎜)

参考文献

中田眞由美，大山峰生(2006).「作業療法士のためのハンドセラピー入門」（第２版）三輪書店

静的二点識別検査（ＳＡ受容器の検査）

1．検査は患者が集中できる静かな場所で行います。

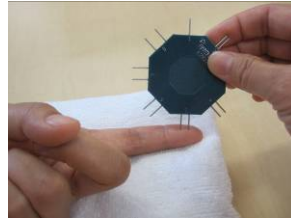
2．検査する部位を、タオルの上などリラックスして安定する場所に置きます。

3．患者に検査の手順を説明します。検査部位に１点と２点の刺激を加え「これが１点、これが２点です」と説明し、「これから１点か２点かのどちらかで触りますので、感じたとおりに１点あるいは２点と答えて下さい」と指示します。

4．患者に目をとじてもらうか､衝立などで視界をさえぎった状態でテストを開始します。

5．２点刺激は５㎜から開始し、指の長軸と平行に指腹に皮膚蒼白部(blanch)を作らないぎりぎりの圧で刺激します。１点刺激と２点刺激はランダムに加えます。

6．患者の反応が良い場合は１回、反応が遅くなったり、誤答し始めたら同じ刺激間隔で３回行い､そのうち２回正答できる最短距離を調べます｡５㎜が識別できない場合には２点間の距離を広げて検査していきます。

7．判定基準：指腹では３～５㎜であれば正常。１０㎜以内であればその手は実用的であると判定します。

動的二点識別検査（ＱＡ受容器の検査）

1．検査は患者が集中できる静かな場所で行います。

2．検査する部位を、タオルの上などリラックスして安定する場所に置きます。

3．患者に検査の手順を説明します。患者の感覚のある検査部位に１点と２点の刺激を加え「これが１点、これが２点です」と説明し、「これから１点か２点かのどちらかで触りますので、感じたとおりに１点あるいは２点と答えて下さい」と指示します。

4．患者に目をとじてもらうか、衝立などで視界をさえぎった状態でテストを開始します。

5．２点刺激は５㎜から開始し､指の長軸と垂直に指腹中央から指尖まで皮膚を軽く圧しながら約２秒かけて動かします。１点刺激と２点刺激はランダムに加えます。

6．患者の反応が良い場合は１回、反応が遅くなったり、誤答し始めたら同じ刺激間隔で３回行い、そのうち２回正答できる最短距離を調べます。５㎜が識別できない場合には２点間の距離を広げて検査していきます

7．判定基準：正常値は４５歳以下であれば３㎜以内、４６歳以上であれば４㎜以内。６㎜以内であれば物体の識別は良好であると判定します。